

1. 政策及び目標等

政 策	金融関連の犯罪に対する厳正かつ適切な対応
達成すべき目標	金融機関の預金口座を不正に利用されないこと
目標設定の考え方及びその根拠	利用者保護及び金融システムに対する信頼維持の観点から、顧客からの届出の受付体制の整備等、金融機関が迅速かつ適切な対応を図ることにより、預金口座を不正に利用されないようにする必要がある。
測定指標	金融機関の預金口座の不正利用防止の状況 ・口座不正利用に伴う口座の利用停止・強制解約等の状況（全銀協公表）

2. 17年度重点施策等

17年度重点施策	不正口座利用に関する金融機関等への情報提供及び迅速かつ適切な取組みの慫慂
参考指標	金融機関に対する預金口座の不正利用に関する情報の提供と活用 の状況、意見交換等の状況

3. 政策の内容

利用者保護及び金融システムに対する信頼維持の観点から、顧客からの届出の受付体制の整備等、金融機関が迅速かつ適切な対応を図ることにより、預金口座を不正に利用されないようにする必要があることから、金融機関等に対し、不正口座利用に関する情報提供及び迅速かつ適切な取組みの慫慂を実施することとしています。

4. 平成17事務年度における事務運営についての評価

金融機関の預金口座の不正利用防止の状況

金融機関に対しては、繰り返し預金口座の不正利用問題に対する適切な対応を要請しており、その結果、口座不正利用問題及び当該問題に対する当局の姿勢についてより一層理解が深まったものと考えています。

上記のとおり当局からの情報提供を基に行ったものを含め、金融機関においては、17年4月から18年3月までの間に、38,740件の利用停止、34,003件の強制解約等の措置を行っており、預金口座の不正利用防止に一定の効果がみられたものと考えています。

5. 今後の課題

口座の不正利用問題については、引き続き、不正口座利用に関する金融機関等への情報提供及び当該情報に対する迅速かつ適切な取組みの態勢を図っていく必要があります。

また、不正に利用された口座に滞留している資金の問題に関し、利用者保護の観点から、実態の把握及び実態を踏まえた金融機関としての対応のあり方の検討等について、適切な取組みの態勢を図っていく必要があります。

6. 当該政策に係る端的な結論

政策の達成に向けて成果が上がっており、今後もこれまでの取組みを進めていく必要があります。